

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

・通学課程（学部）

<p>1. 理工学部</p>	<p>理学系コース(物理学コース、化学・生命科学コース)</p> <p>【課題発見・解決】</p> <p>1. 実験・演習・卒業研究を通して理学の基礎的な理解を深め、研究・教育の現場で課題を発見し、解決方法を提案することができる。</p> <p>2. 社会や自然環境における解決すべき具体的な課題を抽出・分析し、課題に関わる制約条件を考慮した解決策を立案することができる。</p> <p>【思考・判断】</p> <p>3. 課題の全体を把握し、自分がやるべきこと・できることを割り出し、実行することができる。</p> <p>4. 理学的な思考を基に、地球的視点から多面的に物事を捉えることができ、地域及び国際社会に貢献することができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>5. 技術者倫理に基づき行動し、将来にわたり技術者・研究者・教育者として活躍するため持続的に研鑽し、他者と協働することができる。</p> <p>【知識・理解・表現】</p> <p>6. 持続型社会の構築に向けて、日本及び他国の環境や社会的背景に関する知識と教養を有している。</p> <p>7. 理学に関する幅広い基礎知識、並びに専門分野に関する知識を有している。</p> <p>8. 事実を正確かつ論理的に伝える文章の作成やプレゼンテーション、並びにサイエンス・コミュニケーションをはかることができる。</p> <p>【技術・技能】</p> <p>9. 問題発見・解決のために必要な情報を収集し、実験・調査・データ解析に係る計画を立案することができる。</p> <p>10. 条件を考慮した最適な実験・調査・データ解析の技術を身に付けている。</p> <hr/> <p>工学系コース(機械工学コース、電気工学コース)</p> <p>【課題発見・解決】</p> <p>1. 実験・演習・卒業研究を通して工学の基礎的な理解を深め、研究・開発・教育の現場で課題を発見し、解決することができる。</p> <p>2. 社会や自然環境における解決すべき具体的な課題を抽出・分析し、課題に関わる制約条件を考慮した解決策を立案することができる。</p> <p>【思考・判断】</p> <p>3. 課題の全体を把握し、自分がやるべきこと・できることを割り出し、実行することができる。</p> <p>4. 工学的な思考を基に、地球的視点から多面的に物事を捉えることができ、地域及び国際社会に貢献することができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>5. 技術者倫理に基づき行動し、将来にわたり技術者・研究者・教育者として活躍するため持続的に研鑽し、他者と協働することができる。</p> <p>【知識・理解・表現】</p> <p>6. 持続型社会の構築に向けて、日本及び他国の環境や社会的背景に関する知識と教養を有している。</p> <p>7. 工学に関する幅広い基礎知識、並びに専門分野に関する知識を有している。</p> <p>8. 事実を正確かつ論理的に伝える文章の作成や発表を行うことができる。</p> <p>【技術・技能】</p> <p>9. 問題発見・解決のために必要な情報を収集し、実験・調査・データ解析に係る計画を立案することができる。</p> <p>10. 実践の場で求められるデータ計測・収集・処理の技術を身に付けている。</p>
<p>2. 人文学部</p>	<p>(1) 国際コミュニケーション学科</p> <p>【課題発見・解決】</p> <p>1. 主体性と目的意識を持って収集した情報に基づいて自ら課題発見し、解決することができる。</p> <p>【思考・判断】</p> <p>2. 各場面・状況に応じ幅広い視点に立って柔軟に思考・判断し、社会で起こる様々な問題の解決に向けて主体的に取り組む実践力を有している。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>3. 他者と協調・協働しながらコミュニケーションをはかり、遵法精神をもって組織で問題解決に取り組むことができる。</p> <p>【知識・理解・表現】</p> <p>4. 異文化を理解し、言語・文化的な幅広い知見・教養を備えたコミュニケーション能力(会話・文章)を身に付けている。</p> <p>【技術・技能】</p> <p>5. グローバル化した社会において、日本語、英語又は中国語の言語システムを理解し、活用できる。</p>

(2)人間社会学科

【課題発見・解決】

1. 現実の社会的な問題を認識し、問題に対処することができる。

【思考・判断】

2. 社会的事象を、広い視野から論理的に考察することができる。

【関心・意欲・態度】

3. 自分の考えを明確にし、多様な他者と協働して、問題解決にあたることができる。

4. 不断に自分の人生をデザインすることができる。

【知識・理解・表現】

5. 社会学の専門的知識を修得している。

6. 多様な他者の存在を理解し、自分の考えを他者に伝えることができる。

【技術・技能】

7. 社会調査の技法を理解、活用し、社会的事象を、実証的に分析することができる。

(3)日本文化学科

【課題発見・解決】

1. 体験学習及び演習等での能動的な学修を通じて自ら課題を見つけ、世の中の常識や通説を鵜呑みにすることなく自らの力でそれを解決することができる。

【思考・判断】

2. 日本の長い歴史を見通す長期的な展望と、文学・歴史・言語・視覚文化などの諸分野にわたる幅広い見識を身に付け、大局の見地に立って論理的にかつ柔軟に思考することができる。

【関心・意欲・態度】

3. 身近な出来事から抽象的な問題まで日本文化に関する何事にも興味を持ち、常に自分の目で確かめようとする旺盛な探究心を有する。

【知識・理解・表現】

4. 日本文化に関する知識を意欲的に吸収した上で、日本語の読解と表現の鍛錬を通じて言語感覚を磨き、多様な価値観を有する人々にも自らの考えを正確に伝えることができる。

【技術・技能】

5. 日本文化に関する広範な知識を基に、日本文化の諸特徴を的確に分析することができる。

(4)福祉実践学科

【課題発見・解決】

1. 多様な実践の場で自ら地域社会における福祉的課題を発見し、それを解決することができる。

【思考・判断】

2. 社会福祉の視点をもとに、社会的倫理及び国際化に対応する幅広い視野と多様性を受け入れる創造的思考力及び判断力を修得している。

3. 福祉専門職あるいは福祉を学んだ人材として、誰もが住みやすい地域社会づくりに関するニーズの着眼力を修得している。

【関心・意欲・態度】

4. 学生同士並びに教職員、当事者、福祉専門職、企業職員、地域住民との人格接触を伴う学修を通じ、自己を律すると共に自己を確立している。

5. 自らの目標を明確に定め、福祉専門職あるいは福祉を学んだ人材として、社会に貢献することができる。

【知識・理解・表現】

6. 多様な価値観を受け入れることができる福祉を学んだ人材に相応しい幅広い教養を修めている。

7. 体験的な学びを通じて、福祉分野の知識・技能を能動的に修得している。

【技術・技能】

8. 国内外の社会に貢献しうる、多様なコミュニケーション能力及び、ネットワーク形成や問題解決に関わる技術・技能を修得している。

9. 社会福祉学を学んだ人材として求められる基本的な技術・技能を身に付けている。

3. 経済学部	<p>【課題発見・解決】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学および法学・商学・会計学の知識を用いて、経済社会の諸問題を分析し、解決策を提案することができる。 2. 地域の経済社会的な課題を理解した上で、解決するための実践的な取り組みができる。 <p>【思考・判断】</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 経済社会の諸問題について、分野横断的な教養をもとに考察することができる。 4. 経済社会の諸問題を世界的視野と歴史的視点で捉えることができる。 <p>【関心・意欲・態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 所属する組織や社会における自らの役割と任務を認識し、主体的にこれらに貢献する態度を身につけている。また、他者の意見を尊重することができる。 <p>【知識・理解・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. 経済学・法学・商学・会計学の基礎知識及びビジネスの実践的な知識を修得している。 7. 国内外で、文書又は口頭により、自らの考えを論理的かつ正確に伝えることができる。 <p>【技術・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 8. 経済社会の動向を数量的手法を用いて説明することができる。
4. 情報学部	<p>【課題発見・解決】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報の柔軟な運用や分析、社会的技術的な課題への対応・対策等のスキルを有し、活用することができる。 <p>【思考・判断】</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 社会や経済活動に関する周辺知識を有し、科学的思考により情報を多面的に捉えることができる。 <p>【関心・意欲・態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 多様な人間や考えから成る文化や習慣、さらに自己を理解した上で、倫理観を持って能動的に行動・協調・協働することにより、情報を核とした社会の発展に貢献できる。 <p>【知識・理解・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 情報を扱う人間社会や、システムを構築し活用するための技術・制度・組織を理解している。 <p>【技術・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 情報一般やコンピュータで処理される情報の原理を理解した上で、情報を扱う機械及び機構を設計し、実現するための技術を身に付けている。
5. 教育学部	<p>【課題発見・解決】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 課題発見・解決の能力が身に付く。 <p>【思考・判断】</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 思考力・判断力が身に付く。 <p>【関心・意欲・態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 関心・意欲が生まれ、自ら学ぶ態度が身に付く。 <p>【知識・理解・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 幅広い教養・専門知識を修得・理解し、表現することができる。 <p>【技術・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 体験を通して、技術・技能が身に付く。
6. 経営学部	<p>【課題発見・解決】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営にかかわる諸現象について実践躬行を通じて、統合的学習を前提とした課題を発見し解決できる。 <p>【思考・判断】</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 経営現象に関して深く考え熟慮するとともに、グローバルな視点を考慮し状況や時代に応じて変容する最適な解決策や対応について適切で妥当な判断ができる。 <p>【関心・意欲・態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 世の中で起こる経営に関する諸問題や現象について広く関心を持ち、自ら問題の所在を明確にできる。 4. 経営上の諸問題の問題解決や背後の要因の究明に積極的に取り組む意欲を継続できる。 5. 組織の中で協働しながら社会や倫理、環境といった視点から、ビジネスの実践にあたることことができる。 <p>【知識・理解・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. 経営に関する学問的知識と実践的知識を身に付け、複雑で多様化する経営上の現象や問題について適切で妥当な理解ができる。また、これらを言語、図式、数値等によって表現できる。 7. 経営上の現象や問題について、現状の把握、分析、原因究明や対策提案の提示といった一連の過程について、言語、図式、数値等によって表現できる。 <p>【技術・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 8. 経営に関連する社会的に優れた資格や技能を有し社会人としての基礎的な素養を身に付けている。 9. 経営現象を見極め分析し考察と妥当な解決案を導き出せる技能を身に付け、それを遂行できる技術・技能を利活用できる。

7. デザイン学部	<p>【課題発見・解決】 分析力・発想力・統合力=企画力 1. 身の周りの生活や社会を調査・分析し、自ら課題を発見することができる。 2. 調査・分析をもとに様々なアイデアを発想することができる。 3. 課題を解決するためのアイデアを具体的かつ魅力的な企画にまとめることができる。</p> <p>【思考・判断】 デザイン思考・社会貢献 4. 様々な社会に最適な「ヒト・コト・モノ」の関係性を創造的に思考し、判断することができる。 5. 幅広い視野に立って判断し、社会の発展に貢献することができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】 社会に対する関心・工夫する力 6. 社会に対して幅広い関心を持ち、社会貢献につながる自らの目標を明確に定めることができる。 7. 困難に対してあきらめず、工夫と努力を続けることができる。</p> <p>【知識・理解・表現】 デザインに関する知識・コミュニケーション力 8. デザインの活動に必要な幅広い知識と教養を有している。 9. デザインの活動に必要なコミュニケーションの意義と方法を理解している。</p> <p>【技術・技能】 美的構成力・プレゼンテーション力 10. 企画やアイデアを、資料や具体案として美的に構成することができる。 11. 企画やアイデアを明快にプレゼンテーションすることができる。</p>
8. 心理学部	<p>【課題発見・解決】 1. 授業で体験的に修得した方法論や技法を駆使して、問題を発見し、その問題に対処できる。</p> <p>【思考・判断】 2. 外国語文献の読解も含むグローバルな探究で得られた最新の知見を活用して、個人・集団・地域社会等の現実的な諸問題に対処できる。</p> <p>【関心・意欲・態度】 3. 科学的・実証的探究の成果としての卒業研究の完成に繋がる4年間の学びを通じて、自ら目標を見出し、その目標を達成するために自律的・計画的に行動することができる。</p> <p>【知識・理解・表現】 4. 心理学の学びから培われるバランスのとれた人間観に基づいて他者を理解するとともに、社会において他者と適切な関係を結ぶことができる。 5. 科学的探究としての卒業研究を通じて、説明やプレゼンテーションによる相互理解を実現できる。</p> <p>【技術・技能】 6. 心理学の学びを通じて培われた実践的教養としての論理的思考やコミュニケーションによって、社会の多様な場面での価値創造や相互理解構築に貢献できる。</p>
9. 建築学部	<p>【課題発見・解決】 1. 建築学の専門知識に基づき、都市や地域が抱える今日の課題を発見し、その解決案を提案できる。 2. 建築学の専門知識を応用して、自ら課題を設定し実証的な手法を用いて研究論文の作成、又は社会的・客観的視点に立脚した建築設計を行うことができる。</p> <p>【思考・判断】 3. 自然科学分野に加え、社会科学・人文科学分野を含めた幅広い教養を用いて、建築を歴史・社会・人間と関連付けて思考することができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】 4. 建築に携わる職業人としての社会的役割と責任について理解している。 5. 他者との協働作業において、他者の立場や意見を尊重し、チームの成果に貢献することができるコミュニケーション能力を有している。</p> <p>【知識・理解・表現】 6. 建築学に関する幅広い専門知識を身に付けている。 7. 自らの成果物に関して、論理的かつ合理的に説明できるプレゼンテーション能力を有している。</p> <p>【技術・技能】 8. 建築における総合的(意匠、計画、環境、構造)な設計を行うことができる。</p>
10. データサイエンス学環	<p>【課題発見・解決】 1. 社会の多様な諸問題について、数理・データサイエンス・AIを用いて、解決すべき具体的な課題を抽出・分析し、課題背景を理解した上で解決策を計画的に立案することができる。</p> <p>【思考・判断】 2. データサイエンスを用いてデータ活用の実践や新たな価値を見いだす知識を備え、地域及び社会に貢献することができる。 3. データサイエンスと情報学分野、理工学分野及び経済学分野との関わりについて、地域的及び地球的・世界的視点に立って観察する知識とそれぞれの諸課題をデータから考察する力を備え、地域及び社会に貢献することができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】 4. データサイエンスが新たな社会の発展の基本であることを認識している。</p> <p>【知識・理解・表現】 5. データサイエンスに必要な基礎学力とその応用能力を有している。 6. データサイエンスの実社会における活用方法を理解し、他者に伝えることができる。</p> <p>【技術・技能】 7. 実社会に対してデータサイエンスを用いて適用するデータエンジニアリング力と課題背景を理解し、解決に導くビジネス力を有している。</p>